ご挨拶

第35回日本語教育連絡会議はハイブリッドという形で実現することができました。　ハイブリッド開催なのに、当日、会場のマイクがPCから動かせず、フロアの質問や司会をどうするかという問題にいきなり突き当たってしまいましたが、参加者の皆様の創意工夫で乗り切ることができました。また、久しぶりの対面での懇親会は大変盛り上がりました。関係者、そしてご参加くださった皆様に心より御礼申し上げます。

日本語教育連絡会議は１年に１度、「発表したい」「発表を聞きたい」「交流したい」という方が集まる自由な会議です。ただ、今回の全体会議では「先生方が孤軍奮闘している地域、なかなか日本や他国の専門家と知り合う機会がない先生方と繋がっていくことを忘れないようにしよう」との確認がありました。

私自身も、日本語教育連絡会議に救われた一人です。この感謝の気持ち、「恩返し」の気持ちを忘れず、また新たな土地で、いろいろな方とお会いできればと思っております。

カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学

東アジア研究センター

若井　誠二